

カレード 通信 Vol.60

2022年 10月号

小澤館長のコラム Vol.16

「特産品は名産品にあらず」理由は「私は知らなかったから」

石川県には特産品や地元に根差した企業などがたくさんありますね。よそ者の私は知らないものばかりだったので驚いています。まず食べ物では「五郎島金時」、焼き芋好きの私も知りませんでした。そしてお米の「ひやくまん穀」、大の白米好きの私も知りませんでした。次に梨の「加賀しずく」、梨は大好きですがまったく知りませんでした。さらには高級ぶどうの「ルビーロマン」、ぶどうはそれほど好きではないですが、やっぱりこれも知らず、1粒で売っているのには仰天しました。また、食べ物以外では北陸鉄道が運営する北鉄バスは県内でどこでも見かける当たり前の光景ですね。ここカレードの前にもいつの間にか「野々市図書館」というバス停が出来ていました。さて、11月はカレード開館5周年の月です。4周年のときは記念品として「チャンピオンカレー」さんとコラボしたオリジナルパッケージのカレーを作って皆さんにお配りしました。今年も某企業とコラボした記念品を作成中ですのでご期待ください。コラボ企業の名前はまだ内緒ですがこのコラムにヒントがあります。もう言ったようなものですが。(つづく)

日	月	火	水	木	金	土
						1 陶芸教室
2	3	4 赤ちゃん おはなし会	5	6	7 料理教室	8 陶芸教室
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22 陶芸教室
23 かがく実験教室 ハロウィン ライブ30	24	25	26	27	28	29 陶芸教室
	31					

図書館展示情報

一般展示 謎と推理と名探偵と

みなさんはエドガー・アラン・ポーをご存知ですか？ポーは世界初の推理小説「モルグ街の殺人」を書いた人物で、10月7日はそんなポーの忌日であることから、ミステリー記念日となっています。そんなミステリー記念日にあやかり、様々な推理小説をご用意しました。ぜひ、あなたも様々な謎に挑戦してみませんか？



児童展示 世界のものがたり

10月の児童展示は世界中のおもしろい物語（絵本・文学）を集めました。名前は知っているけども、まだ読んだことのない名作や隠れたオススメの作品がたくさん並んでいます。子どもも大人も楽しめる展示になっていますので、この機会に是非手に取ってみてください。



このほか館内の様々な場所でも展示をしています。ぜひこの機会にお立ち寄りいただき、色々な本と出会ってください♪

最新情報はコチラから！

Twitter:

Facebook:

YA展示 教科書に載っていたあの小説

「羅生門」「山月記」「舞姫」「こころ」など教科書で読んだ方も多いいのでは？あのお話の結末はどんなだったっけ？あの作家の他の作品も読んでみたい！そんな方のために教科書を中心に載っていた小説を集めてみました。読書の秋にもう一度読んでみませんか？

蔵書点検による図書館休館のお知らせ

蔵書点検のため、下記の期間は図書館が休館となります。

10月12日(水)~19日(水)まで

資料の閲覧・貸出、学習室の利用はできません。

※ブックポストへの図書の返却、インターネットによる図書の予約、電子書籍の貸出は、蔵書点検中も支障なく利用できます。

※CD、DVD、大型絵本、他館からの資料などは上記期間以外に返却してください。

※上記期間中、学習室、グループ学習室の利用はできません。

※市民学習センター(各スタジオ)は通常通り開館しています(毎週水曜休み)。

図書館休館に伴い、下記の期間は貸出期間が

21日間(3週間)となります。

貸出日	返却日
9月29日(木)	10月20日(木)
9月30日(金)	10月21日(金)
10月1日(土)	10月22日(土)
10月3日(月)	10月23日(日)
10月4日(火)	10月25日(火)

この機会に、たくさんの本と出会ってください。

10月カレードイベント情報!

『ライオンのこころ』パネル展

会期/【前期】10月4日(火)~11日(火)
【後期】10月20日(木)~25日(火)
時間/9:00~22:00 入場無料
会場/オープンギャラリー
2021年12月に刊行された絵本「ライオンのこころ」のパネル展示を行います。翻訳は女優の安藤サクラ氏。実際の絵本と併せてお楽しみください。

ハロウィンライブ

日時/10月30日(日) 11:00~11:30
出演/石川フィルハーモニックウインズ
会場/憩いの広場 入場無料
※イベントは変更・中止となる可能性があります。予めご了承ください。

9月イベント報告

安野光雅『旅の絵本X』パネル展

9月3日(土)~25日(日)、安野光雅『旅の絵本X』パネル展を開催しました。画家・絵本作家である安野光雅氏の「旅の絵本」シリーズ最新刊『旅の絵本X オランダ編』の刊行を記念し、大型パネルを展示。たくさんの方にご来場いただきました。また、期間中に小学生向けに水彩画ワークショップを開催。安野氏の特徴を捉えながら、楽しく絵を描きました。



今月のおすすめ本

『小さいわたし』 著者:益田ミリ 出版社:ポプラ社 分類ラベル:914.6/72

「おとなになると、今日のことを忘れてしまうのかな。そうだとしたら、すごいやだ」こどもの頃、著者はそう思ったそうです。おとなになりその通りになったけれど、楽しかったという気持ちだけはよみがえってくることがあるようです。この本はそんなこども時代の思い出をもとに描かれたエッセイです。長い人生のほんのひとときのこども時代にタイムスリップでき懐かしさでいっぱいになります。38点のカラーイラストもかわいくホッコリとします。水たまりを前にして「ここからちがうせかいにいけるかも」と、つぶやく場面はこどもらしさが溢れています。ところが「おわりに」を読んでハッとしました。なぜピアノをやめたのか、なぜ絵の具セットやリュックサックにこだわったのか、実は幼稚園の頃「どうしてみんなと同じに出来ないの」と言われたことに原因があり、著者はこどもながらに自信をなくし、自分がみんなと同じかどうかわかり気になり、不安で不安でたまらなかったということ。こどもはおとなが思っている以上に繊細でいろいろ考えているのですね。

昔こどもだった私たちおとなは、こどもの心に寄り添える親であり、孫に心のゆとりを与えられるじいじ・ばあばでありたいと強く思うのです。とはいえ、トランプを片手に遊びに来た孫に「ばあば、ババ抜きを一緒にしよう」と誘われ、なぜか苦い顔をする私がいるのでした。(スタッフY)

こちらの本は、カレードとカミーノ図書コーナーに1冊ずつ所蔵しています。